



新年のご挨拶

群馬県中小企業団体中央会

会長 吉田 勝彦



明けましておめでとうございます。令和4年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、年初から新型コロナウイルス感染拡大第3波が到来し、激動の一年を予感させる緊張感漂う中で幕を開けました。新規感染者数の高止まりから緊急事態宣言が断続的に発令され、一時は医療崩壊が叫ばれる事態に陥ったものの、年後半に入るとワクチン接種効果もあり、急速に減少へと転じ、足下の感染状況は低水準にて推移しております。経済・企業活動においては、感染者数の増減に左右される不安定な動きが水面下で続く中、業種・業態間格差の拡大、半導体不足や資源価格の高騰といった新たな問題も浮上するなど、本格的な景気回復には未だ途半ばの状況にあります。

この間、政府では、異例となる年度内3回目の補正予算を編成するなど、感染抑止と社会経済活動の両立に向け思い切った方策を打ち出し、着実な成果へとつなげてきました。政権運営の舵取りは、新たに内閣総理大臣として就任された岸田文雄氏に引き継がれたところですが、地球温暖化による脱炭素社会の実現や、大規模な自然災害の多発、緊迫した世界情勢等々、この危機的状況を打開し、再び我が国経済が自律的な成長へ向かうよう、機動的かつ実効性の高い政策の実現を強く期待申し上げます。

群馬県においても、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の対象地域となる厳しい状況が続く中で、医療体制の充実強化はもちろん、大規模ワクチン接種センターの早期設置により全国有数のスピードでワクチン接種が進められるなど、万全のコロナ対策が講じられてきました。また、全国に先駆け「ぐんまワクチン手帳」の導入を実現する

とともに、「愛郷ぐんまプロジェクト」や「プレミアム食事券」の継続実施といった数々の取組みを通じて、本県地域経済の安定に積極的な後押しをいただいたことは大変心強く感じております。

先の見えない混沌とした状況からは脱しつつありますが、中小企業・小規模事業者においては、受注や収益の確保、最低賃金の大幅な引上げ・人材難への対応など、取り組むべき経営課題が山積しております。また、コロナ後を見据えた社会経済のあり方として「デジタル化」と「グリーン化」が主要テーマとして浮上する中、DXの活用による生産性向上や事業再構築に向けた取組み、環境負荷の低い経営やSDGsへの対応も急務となっています。こうした変化が激しく、不確実性の高い時こそ、組合を核とする「連携の力」によって解決の途を探り、新たな試みを牽引して行くことが必要であると確信しております。

本会は、昨年創立65周年の節目を迎えましたが、これを機に改めて中小企業連携組織の専門支援機関としての初心に立ち返り、会員組合並びに傘下企業の皆様にとって真に求められる組織となるよう、積極的かつ多角的な支援を展開して参る所存であります。

新たな変異株の出現など、未だ新型コロナへの警戒感を緩める状況にはありませんが、今年こそはこの災禍が終息を迎え、皆様方にとって実り多き希望に満ちた一年となりますことを心より祈念申し上げます、ご挨拶といたします。

令和4年元旦



新年のご挨拶

群馬県知事

山本 一太



明けましておめでとうございます。

群馬県中小企業団体中央会の皆さまには、心新たに輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応につきまして、多大なご尽力をいただいている全ての皆さまに深く感謝を申し上げます。

昨年は、感染症から皆さまの命と健康を守るため、保健所や医療提供体制の強化をはじめ、県営大規模ワクチン接種センターをいち早く立ち上げ、各市町村とも連携し全国トップクラスのスピードでワクチン接種を進めるなど、さまざまな対策に全力で取り組んでまいりました。

また、全国に先駆けて「ぐんまワクチン手帳」を活用した県内の旅行促進策「愛郷ぐんまプロジェクト」や飲食店等への応援のためのプレミアム食事券を販売するなど、地域経済の早期回復に向けた対策にもスピード感を持って対応してきました。

コロナ対策は長期戦となります。引き続き、事業者の皆さまのご理解とご協力をいただき、力を合わせ、感染防止と地域経済を回していくという、この2つを両立できるよう、油断することなく、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

本年は、新・総合計画ビジョンで掲げた20年後の本県が目指す姿「すべての県民が、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる社会」を実現するための取り組みをさらに加速させ、新たなチャレンジの年にしていきたいと考えています。

新たな時代を切り拓く「始動人」を育成し、群馬ならではの新しい学びを推進する教育イノベーション、災害やパンデミックに強い群馬の構築に

注力していきます。また、スポーツや文化芸術による地域振興、地域資源を生かした観光、ぐんま暮らしのブランド化や外国籍の皆さまとの共生・共創などさまざまな課題に取り組みます。さらには、皆さまの利便性を高め、地域が直面している問題を解決するため、デジタル化の取り組みを加速化していきます。

これらの施策や事業を推進するためには、民間の知恵と活力が不可欠であると考えております。中小企業団体中央会の皆さまには、中小企業の経営基盤強化や新型コロナウイルス感染症により多様化する経営課題への対応等を通じて、県内企業の振興発展のために絶えずご尽力をいただいております。

県内企業の活力が最大限発揮されるよう、皆さまとしっかり連携し、本県経済のさらなる活性化に取り組んでまいりますので、引き続き県政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後も、皆さまの命と健康、暮らし、経済を守ると同時に、心豊かな生活によって誇りと幸福感を持てるよう全力疾走で取り組んでまいります。

新しい年が、皆さまにとって、実り多き素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

令和4年1月1日



年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 森 洋



明けましておめでとうございます。令和4年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年6月に会長として再任頂き、11月には本会創立65周年記念式典を開催することができました。これもひとえに会員皆様方の日頃のご支援やご協力のお陰であると深く感謝申し上げます。

昨年は、長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大による行動制限等の影響を強く受けて実に苦しい1年でした。世界的な半導体不足や原油、金属、食料原材料等の価格高騰、豪雨・台風等の自然災害の発生、深刻化するデジタル人材不足、事業承継問題等により、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、対面サービス業を中心に深刻な影響を被りました。ワクチン接種の進展等により感染者数は減少したものの、依然予断を許さない状況が続いています。岸田新政権が昨年11月に閣議決定した「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の実効に期待を寄せているところです。

このような状況の中、中小・小規模事業者にとって喫緊の課題である生産性向上や経営強靱化は急務であり、そのためには、個社ごとの経営努力に加え、中小企業組合をはじめとした共同化、協業化、企業間連携を通じた戦略的な取組みが重要になります。

昨年11月25日に神奈川県のパシフィコ横浜国立大ホールにて開催した第73回中小企業団体全国大会では、萩生田経済産業大臣等多数のご来賓をお迎えし、全国各地から中小企業団体の関係者約1,700名が参集し、

I. 中小企業・小規模事業者等の生産性向上・経営強靱化支援等の拡充

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

の実現に向けて、共に取り組むことを決議しました。

大会後の「感謝の夕べ」にご臨席賜りました岸田内閣総理大臣からは、ものづくり補助金の中央会の事務局としての活動と生産性向上の具体的な事例に言及され、謝意を頂き、中小・小規模事業者の発展を支援する中央会への期待が表明されました。この岸田内閣総理大臣の中小・小規模事業者への期待や支援に応えるためにも、組合組織が持っている企業同士の「連携力」を大いに発揮し、中小・小規模事業者が誰一人取り残されることのないよう全力で取り組んで参ります。

とりわけ、ポストコロナを見据えた新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立、デジタル化・グリーン化への起動、事業再構築・生産性向上、災害対策、事業承継、事業再生などの最重要課題については、会員の皆様との連携を一層強化し、対応してまいります。

結びに、本年が中小企業組合と中小・小規模事業者の皆様にとりまして、一刻も早く安心して事業活動を行う環境が整いますとともにコロナ禍から立ち直り、新たな飛躍への足がかりとなる1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年元旦



新年のご挨拶

株式会社商工組合中央金庫 前橋支店

支店長 藤田 識雄



明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国各地で緊急事態宣言などが断続的に発令される中、飲食や宿泊関連などの対面型サービス業を中心に深刻な影響を受けました。さらに、中小企業の過剰債務解消に加え、政府が進めるカーボンニュートラルへの対応、自然災害に備えた事業継続計画の策定など、中小企業の経営課題は、従前にも増して多様化しています。

このような中、私ども商工中金は、危機対応業務の指定金融機関として、制度を的確に運用しつつ、影響を受けられた中小企業の皆さまの個別の実情に応じた懇切・丁寧な対応を行うとともに、資本金劣後ローンを活用した財務基盤の構築にも取り組んでまいりました。

低炭素経済への移行や社会のデジタル化等の大きな変革も見据えて、引き続き真にお客さま本位かつ長期的な視点で、中小企業組合並びにその組合員の皆さまの企業価値向上に貢献してまいります。

具体的には、産業構造や社会の大きな変革を見据えた事業再構築や新事業への進出、業務のデジタル化、経営改善、事業再生などに取り組む中小企業の皆さまに対する支援を重点的に行ってまいります。日ごろからのリレーションを一層強化し、地域金融機関や外部専門機関との連携・協業を密に行いながら、お客さまの経営課題に対応してまいります。

また、こうしたビジネスモデルを支える屋台骨として、引き続きコンプライアンスの徹底や内部

管理態勢の強化に取り組むとともに、職員の能力を最大限に発揮するため、ダイバーシティの推進やインクルージョンを徹底してまいります。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」である商工中金にとって、中小企業組合並びにその組合員の皆さまの成長こそが私たちの成長になります。皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいります。

本年は国内経済活動再開、正常化に向けての変化の年となることが予想されます。中小企業の皆さまにとってこうした変化を好機と捉え、様々なことに果敢に挑戦する絶好の機会でもあり、その機会を活かすためにも、中小企業組合を通じた中小企業同士の連携・協業が重要となります。私ども商工中金は群馬県中小企業団体中央会様や中小企業組合の皆さまと積極的に情報交換・連携を図りながら、中小企業の皆さまの支援に努め、群馬県の社会・経済の発展に微力ながら尽くしてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が中小企業組合並びにその組合員の皆さまにとりまして、新たな成長への飛躍となる一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年元旦